

1. 研究課題名

気管支鏡に関連する疾患、検査・治療手技データベース構築

2. 試料・情報

(1) 利用目的

日本全国の気管支鏡関連診断および治療手技情報を登録するデータベースを立ち上げ、気管支鏡関連手技の全国規模の情報収集を行います。

(2) 利用項目、提供方法

本研究は、当センター倫理委員会承認日～2035年12月31日の間に、気管支鏡検査を受けられた方の検査記録を利用して行います。利用する情報は下記の項目(*)で、利用を開始するのは、本研究が承認された日以降です。

本研究は多機関共同研究(研究代表者:帝京大学医学部外科学講座 教授 坂尾幸則)であり、当センター(院長 中島淳)は十分なセキュリティ管理のなされたデータサーバーに、検査記録から得られた情報を提供します。その際、個人を識別できる情報は削除いたします。

ただし、当センターでは個人情報に十分な配慮をしたうえで、誰の情報を提供したのか、後からでもわかるように管理をいたします。提供を開始するのは、本研究が承認された日以降です。

(3) 利用する者の範囲

日本赤十字社医療センター 呼吸器内科 部長 出雲 雄大(当院研究責任者)
研究代表者:帝京大学医学部外科学講座 教授 坂尾幸則および本共同研究に参加している国内の医師

(4) 管理責任を有する者の名称

日本赤十字社医療センター

3. 参加を希望されない場合等

本研究への参加を希望されない場合や本研究参加についてのご相談がある場合は、以下へご連絡ください。本研究への参加を希望されない場合でも、不利益を被ることはありません。

4. 問い合わせ先

日本赤十字社医療センター

〒150-8935 東京都渋谷区広尾 4-1-22

TEL : 03-3400-1311 FAX : 03-3409-1604

担当 : 呼吸器内科 医師 栗野 暢康

利用する項目*●基本情報項目 :**

施設情報、検査・処置施行医

患者基本情報 : 年齢、性別、入院・外来の別、予定・緊急の別、喫煙歴、ASA grade

気管支鏡対象疾患、検査目的

気管支鏡検査前検査 : 感染症、抗血小板・抗凝固薬の内服、ヘパリン置換の有無、検査前投薬、並存疾患、アレルギー歴

麻酔・鎮静 : 静脈ルートの有無、局所麻酔法、鎮静・鎮痛、拮抗薬、気管支鏡挿入経路

検査時モニタリング : モニター、酸素投与の有無、感染対策 術者・第一助手、予防的抗菌薬投与

検査室と気管支鏡 : 陰圧室使用の有無、X線透視装置使用の有無、使用気管支鏡、硬性気管支鏡使用の有無、補助循環 (ECMO 等) 使用の有無、ロボット気管支鏡の使用の有無
検査時刻・終了時刻

内視鏡室看護師・技師の数

偶発症、偶発症による影響

気管支鏡診断の可否、最終診断、最終診断の方法、処置・治療後の転帰

●レポート項目

中枢診断 : 異常所見、部位・所見、特殊光観察、ラジアル型 EBUS、検体採取法、気管支鏡画像診断、気管支鏡診断 (生検)、検体採取法、検体情報、迅速細胞診、病理診断、微生物検査

末梢診断 : 部位・所見、CT 所見、診断支援、気管支鏡画像診断、気管支鏡診断 (生検)、検体採取法、検体情報、迅速細胞診、病理診断、微生物検査

リンパ節縦隔腫瘍肺胸膜 : 部位、検査法、所見、超音波所見、気管支鏡画像診断、気管支鏡診断 (生検)、検体採取法、検体情報、迅速細胞診、病理診断、微生物検査

治療手技 : 喀痰吸引、止血、薬物注入、マーキング、バルーン拡張、高周波治療、マイクロ波凝固、冷凍凝固、レーザー焼灼、光線力学的治療、密封小線源治療、放射線治療用マーカー留置、ステント留置、EWS、異物摘出、気管支断端瘻孔閉鎖、肺胞洗浄 (治療)、気管支サーモプラスティ、肺容量減量術・Chartis 測定、治療手技の成否